

令和5年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域と暮らしのゼロカーボン勉強会
事業主体 (連絡先)	地域と暮らしのゼロカーボン勉強会事務局 (事務局代表：石田幸央 09014321856)
事業区分	(5)環境保全、景観形成
事業タイプ	ソフト
総事業費	697,772 円 (うち支援金：558,000 円)

事業内容

1. 勉強会の実施

8月から12月までの間に3回実施
白馬ノルウェービレッジ(白馬村北城3476)にて開催し、
のべ100名の参加がありました。8/30、9/26、10/24
開催
<方法等>

各テーマの有識者・実践者を講師として白馬村に招待し、会場の参加者に講義を行いました。また、参加者と講師との対話を推進し、ディスカッションなどを通じて理解を深めました。

勉強会の中で今季は太陽エネルギーの利用、食と農について実践形式で手や頭を動かしながら、深掘りしていくことになりました。

第2回と第3回は地域の実践者から事例商会やアドバイスをしてもらい、より身近でわかりやすい内容となったため、実践に活かしていくきっかけとなりました。

2. シンポジウムの実施

11月23日に白馬村とともに「ゼロカーボンシンポジウム」を主催しました。

2部制にして開催、第1部はアメリカニューヨークの小学生が地域のプラスチックの環境を学び、小学校での脱プラスチック運動を行い、それが市内に広がっていくというドキュメンタリー映画「マイクロプラスチックストーリー」の吹き替え版を上映しました。

第2部は講師をお招きしての講演、地域の有識者を集めての講演とパネルディスカッションを行いました。

2部合わせて100名の参加がありました。

3. ホームページ制作

ゼロカーボン勉強会のホームページを制作しました。これまで実施した勉強会の報告ページをまとめてリンクし、一覧性を持たせました。

また、イベントの告知も行えるように作りました。



【勉強会の様子】

【目標・ねらい】

- ① ゼロカーボンについて興味を持ってもらう
- ② 多くの参加者を集める
- ③ 自分もやってみようという意欲を高める

※自己評価【B】

【理由】

多くの実践者との対話からより実践的な勉強会を実施できました。
HPを活用して広報をより積極的にかけて多くの参加者を呼び込みたいと思います。



【シンポジウムの様子】

事業効果

全体を通じて、のべ200人の参加がありました。実践を促す勉強会のテーマから、参加者の方から活発な質問や意見が毎回出て、グループディスカッションを長く取り、勉強会は盛り上がりました。これまで参加しなかった方々や大学生や高校生、中学生小学生の参加もあり、多くの層に興味を持ってもらうことができたと思います。シンポジウムの開催にあたり、自治体白馬村の担当者と連携をとりながら進められたことで地域内外に幅広く活動を認知させることができ、また自治体を巻き込んだ大きな動きができました。ホームページの制作により情報の一元化と一覧化ができるようになりました。より一層の情報発信と地域の多くの方も巻き込みに貢献できる方にしていきます。



今後の取り組み

今後はまたより多くの新たな興味を喚起できるよう、地域の子どもや親世代、そしてその間の中高生、大学生を巻き込めるような取り組みを行なっていきます。関係者事務局も新しい人材を集め、これまでとは違った画期的な動きにできるよう精進します。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある